

令和4年度 基本方針と目標

「一人一人が主役、共に支え合い、地域を暮らしやすくしていこう」 - 笑顔があふれるまち“六郷”の実現を目指して -

六郷まちづくり協議会

基本方針 1 まちづくり活動の活性化 … 多くの住民の多様なまちづくり活動への参加を促進して、地域の絆を深める。

重点施策 1-a まちづくり協議会と他団体との活動を活発化させる。

六郷まちづくり協議会の地域を暮らしやすくしようの目標に向かって、まち協ボランティアの皆さんはもとより、六郷地区で活動する他団体との連携を深め、地域の問題を解決していく。

また、イベントの開催は、地域住民の皆さんとの絆を深める重要なものであり、六郷地区連合自治会のご協力を仰ぎながら、確実に開催に向けて努力していく。

担当 事務局(地区センター事務長)を中心に、各部会との連携を図る。

重点施策 1-b ウイズコロナ的环境下でも活動計画を確実に実施する。

各活動部会の計画を、市役所地域支援課、六郷地区連合自治会の意向を尊重し、ウィズコロナ的环境下で活動が継続できるよう進める。

ふれあいフェスタ、ふれあい雪まつり、スポーツフェスティバル、スポーツ教室などは、実施形態・内容を検討し進めていく。

担当 地区センター活動部会他各活動部会、実行委員会、企画幹事会

重点施策 1-c 小谷村から提供される雪を活用して、“六郷ふれあい雪まつり”を実施する。

令和5年2月に、小谷村からいただく雪を利用して、雪まつりを開催する。特に、子ども達に喜んでもらえる企画を考える。

また、小谷村との友好が深められる、物産展については、最大限の協力を行う。

(コロナ感染状況を考慮して、市役所地域支援課、六郷連合自治会との緊密な連絡を基に、開催の判断を行う。)

担当 雪まつり実行委員会

«基本方針1のめざす目標»

六郷まちづくり協議会の活動も14年目となることから、いままでの活動を振り返り、住民のニーズにあった活動を推進して予算と人の配分を考える。

他のまちづくり団体との連携を深め、「長期休暇子ども無料学習会の運営」「居場所カフェの運営」に全力でバックアップする。

基本方針 2 地域の福祉・教育支援への取り組みを促進…住民の交流を促進し、相互の助け合いの輪をひろげる。

重点施策 2-a 地区の社会福祉活動を推進して、笑顔があふれるまち“六郷”の実現を目指す。

地区の福祉活動体制の中心組織として協力スタッフの増加を目指し、「楽しく・気軽に・無理なく」「出来る人が・出来る時に・出来る事を」の精神で住民のニーズに応えた活動を推進する。

- ① **ふれあいの居場所づくり** … 多世代を対象としたふれあいサロン活動へ支援を行い、朝市と青空サロンを継続して開催し、居場所カフェ「こくる」の運営に協力する。
- ② **ふれあい市民農園利用継続** … 「牛淵ふれあい市民農園」の利用を継続し、地区自治会等のご協力をいただき、市民の生きがいと健康増進の場として活動していく。

担当 地域福祉部会、地域振興部会、サロンや朝市開設の各地域組織 協働 関係自治会、民生委員等

重点施策 2-b 教育支援への取り組みを推進する。

「夏休み無料学習室」は、夏休みだけであったが、「長期休暇無料学習会」として、春、夏、冬の長期休暇に開催する。
「学用品リユース」は継続して行くが、将来の運営方法について検討する。

担当 活動研究会、教育文化部会 協働 地域の諸団体（NPO,PTA,学校）

«基本方針 2 のめざす目標»

住民相互の多様な交流の輪を広げる。ふれあいサロンを支援し、地域交流の場を重視していく。

基本方針 3 安全安心のまちづくりと、活動を支える人づくり … 元気な高齢者の社会参加を進め、支え合いの活動を展開する中で、地域の組織と連携協力して、心豊かで安全安心の暮らしが出来る地域づくりをめざす。

重点施策 3-a 地域づくりの担い手の広がりを目指す。

静岡県コミュニティカレッジへ参加者（2名）を派遣する。

担当 活動研究会、企画幹事会

重点施策 3-b 安全安心のまちづくりを推進する。

救急医療情報キットの配付は、未配布の単位自治会への説明を継続し、65歳以上の配付率を高める。

ウィズコロナの環境下で、高齢者や障がい者、子ども達など社会的弱者にとっての安全安心なまちとはどうあるべきか、またま

ち協にはどんな取り組みが可能かということ和社会福祉協議会とも意見交換する。

担当 地域福祉部会、活動研究会 協働 六郷地区連合自治会、社会福祉協議会

重点施策 3-c ろくごうの集いを開催する。

(コロナ禍での開催の是非を含め開催の検討を行う)

現在各地区・各方面で活動しているボランティア団体と相互の発表の場を設け、交流を深め、住民のきずなを充実させる。

担当 地域福祉部会、活動研究会

《基本方針3のめざす目標》

救急医療情報キット配付のような、支え合いと安全安心の地域づくり活動に取り組む中において、その過程に様々な形でのボランティアの参加を呼びかけ、地域を支える人材開発を目指していく。

※今年度の全活動については、十分な新型コロナウイルス感染症対策を行い進めるが、感染状況を見極めながら、行政と連携をとり実施することとしたい。

以上